時事新報

驛遞局認可

明治十八年五月七日
（西曆一千八百八十五年）
木曜日
第九百六十二號
日曜日休刊

公報

○太政官布達第六號
明治十六年（十一月）第三十五號布達銅糸織物銅漆器共進會規則第十條左ノ通改定ス
第十條
褒賞授與式ハ六月五日ヲ以テ挙行スヘシ
右布達候事
明治十八年五月六日　太政大臣　公爵三條實美
農商務卿　伯爵西鄕從道

○大藏省告示第七十四號
函館縣下開港場稅目四十九國立銀行明治十八年五月七日ヨリ東京第百十九國立銀行ヘ合併營業ヲ許可シ第百四十九國立銀行ヨリ發行セシ紙幣ハ爾後ノ通通用セシメ低銀取扱要領受スヘシ
右告示候事
明治十八年五月六日　大藏卿　伯爵松方正義

時事新報社説

不景氣ノ原因

日本全國近年ノ疲弊ハ凶年饑饉ニアラザル外當今人ノ聞キ知ラザル程ニ甚ダシキモノナリ不景氣ノ歎聲四方ニ喧シキヨリ以來既ニ四年バカリ此間幾度カ景氣回復ヲ希望シタリト雖ドモ毎度ナガラ其望ヲ失ヒ遂ニ今日ノ極度ニ陥シテ尚ホ未ダ回復ノ期ヲ知ラズ實ニ驚キ入リタル始末ト云フベシ抑モ今ノ日本ノ不景氣ハ其由ル來ル處何レニ在ルヤ風災水害頻年甚ヒ至リテ遂ニ一國ノ富ヲ奪ヒ去リタル所謂天爲ノ禍ナルモノカ將タ紙幣濫發國民恒心ナク遂ニ一般ノ不景氣ヲ招キタル所謂人爲ノ禍ナルモノカ此問題ヲ定ムルハ此不景氣ヲ論ズルノ順序中第一着ノ事トセザルヲ得ズ凡ソ人事ノ變化進退ハ必ズシモ一原因ヨリ來ルニアラズ種々幾樣ノ原因集合シテ遂ニ一事ヲ成スヿ普通ノ例ナルガ故ニ今固ヨリ不景氣ノ原因ヲ探ルニモ單ニコレヲ某ノ一事ニ限ルヿハ毫ニラズ必ズヤ幾多ノ原因アリテ然ルモノナリト定ムル方事實ニ近カラン然リト雖トモ愛ニ一國ノ富源ヲ大略ヲ爲ス者ナリトテ奉テ世人ノ承知スル一事アリ不換紙幣濫發ノ事是レナリ我日本國ニハ明治ノ初年ヨリ不換紙幣ノ流行始ダシク十年西南ノ亂ニ際シテ遂ニ其極度ニ達シ二億圓ニ近キ大小ノ紙幣忙ハシク全國ヲ流通スルト共ニ物價大ニ騰貴シ一時ハ紙幣一圓ハ八十錢ヲ以テ僅ニ正金一圓ヲ買ヒ得ルニ過ギザル樣ノ現象ヲ示シタリ今全國不景氣ノ原因ヲ探ルニ當リ全クコレヲ某ノ一事ニ歸スルヿハ六ケ敷カラズト雖ドモ此不換紙幣ノ濫行ハ國原因中ニテ第一ノ地位ヲ占ムルモノナリト斷定シテ決シテ事實ニ相違セザルベシ退レ我輩ガ一解ノ卒言ニアラズ全國公論ノ明カニ認メテ許ス所ナリ

無ヨリ有ヲ生ゼザルハ宇宙法則ノ大本ナリ然ルニ不換紙幣ハ此法則ヲ顚覆シ無ヨリ有ヲ生スルヿ甚ダ容易ナリ日本全國ノ富ハ何程ナルヲ知ラズト雖ドモ僅々數年間ニ無中ヨリ臨時二億圓ノ購買實力ヲ差加ヘラレテハ現ニ角ニ非常ノ驚歎ヲ發スベキ自然ノ事ナリシ二億圓ノ紙幣ハ二億圓ノ需用ナリ需用頓ニ增加シテ供給足ラズ物價日ニ益騰貴シ生產者日ニ益富ミ日本八十餘州ハ一變シテ一個ノ極樂國ト爲リタリ是レ即チ明治十二三年頃ノ實況ナリ此頃ヨリシテ紙幣漸ク減少シテ需用漸ク減シ物品積ンデ堆キヲ成セ共情實者ノ來テ價ヲ問フ者ナク止ムヲ得ズ物價ハ日ニ益下落シ生產者ハ日ニ益困窮シ金融ハ塞ガリ紙幣一圓ハ殆ンド正金一圓ヲ買ヒ得ルノ勢ヲ現ハシ同時ニ全國到ル處トシテ途ニ餓莩ヲ見ザルハナキノ不景氣ニ推移リタリ是レ即チ明治十八年ノ實況ナリ無ヨリ有ヲ生スル不換紙幣ノ一張一弛ノ弊害ノ其怖ルベキヿ斯ノ如シ

不換紙幣ノ濫行ハ國ノ大害事ナリ故ニ兌換ノ制ニ改メザル迄ニモ其發行ノ高ヲ減シ紙幣ト正金トノ間ニ成ルベク目下日本ノ財政上ノ有樣ノ如ク爲スハ實ニ嘉ミスベキ事柄ナリ然レドモ世人ニ向テ我輩ガ特ニ忠告セント欲スルノ一事ハ前ニ不換紙幣ヲ濫發シテ全國ノ理財ヲ乱リタルノ害ハ幾ニ其濫發ノ部分丈ケヲ回收シテ又全國ノ理財ヲ乱リタルノ處置ヲ以テ全ク之ヲ消滅シ又全クコレヲ償却シ得ベキ性質ノモノニアラズト云フ事是レナリコレヲ譬ヘバ過量ニ酒ヲ飲ンデ身体ヲ傷ヒシ後順ニコレヲ減シテ平日ノ量ニ復シタリトテ其ヤニ飲ミ過ギタル酒ノ毒ノ消滅スベキ道理ナク隨テ其身体モ過量ニ酒ヲ飲マザリシ以前ノ健康ニスルヿ能ハザルベシ若シ果シテ健康ノ回復ヲ望マバ必ズヤ臨時特別ノ養生法ヲ守リ臨時特別ノ勞ヲ費シテ然ル後ニ始メテ前ノ酒債ヲ償フヿヲ得ベシ不換紙幣ノ濫發モ亦斯ノ如キノミ故ニ今ノ不景氣ハ其原因重モニ不換紙幣ノ濫行ニ在リトスレバ此不景氣ヲ救治スルニハ單ニ紙幣ノ濫發ニ屬スル部分ヲ回收シタルノミヲ以テ足レリトスベカラズ必ズヤ紙幣情況正貨流通ノ處置ナカルベカラズ是レ我輩ノ信ジテ疑ハザル所ナリ

雜報

○佛國新內閣員　佛國新內閣員の姓名は既に記載せしが尙其人々の身分の大略を掲ぐに文部卿兼美術教部卿ゴブレー氏はソーム州より出てたる代議院の議員よりして千八百八十三年フレシネー氏が首相たりし時內務卿たりし人なり○內務卿アランダルセイ氏はセーヌ州より出てたる議員よりして千八百八十一年より故ガンベッタ氏の內閣にて大藏卿たりし人なり○大藏卿シグマッタエラン氏は元老院の生涯議員なり○陸軍卿カムベノン氏は千八百八十一年よりガンベッタ氏の內閣にて陸軍卿の職に在り其後一昨千八百八十三年より昨八十四年迄同氏く陸軍卿たり○工部卿カルフェリー氏の內閣にて同氏く陸軍卿たり○工部卿カルノー氏はコート ドール より出たる議員にて千八百八十年より同八十一年迄フェリー氏の內閣にて工部卿の職を勤ち千八百八十二年に再び工部卿となりたる人なり○農務卿ルグラン氏はノルド州より出でたる議員にして千八百八十二年より同八十三年の間ヴユクレール氏の內閣にて商務卿たりし人なり○商務卿マンゴン氏はマンシェ州より出たる議員なり○驛遞電信卿サリアン氏はサース エロール州より出たる議員なり○此外海軍兼殖民卿ガリベール氏の履歷は未だ詳ならず又首相ブリソン氏並ニ外務卿フレシネー氏等ハ履歷は前ニ記せしとなるに付略ス（記者白ス本月二日の紙上に載せたる佛國內閣員の姓名中商務卿ルグラン氏農務卿マンゴン氏と記せしが正若の米國新聞ニ載せたる電報に據ればルグラン氏は農務卿にしてマンゴン氏は商務卿あり）

○裁判陪席　判事鶴山成敬氏は去月廿九日名古屋控訴裁判所に於て第二類殺人重罪裁判陪席を仰付られたり

○兼務被免　大藏省權奏任御用掛池田成章氏い一昨五日大藏省に於て出納局兼務被免候旨仰渡されたり

○大久保利和氏　侯爵大久保利和氏い是迄日本鉄道會社の委員（月俸二百圓）にて專ら該事業ニ盡力なし居たりしが今度同社を退きさり右は近々太政官の書記官ニ任せらるゝが爲なりと云ふ說なり

○故岩倉公の傳　在日本、荷蘭公使館ハ通辨書記官レオン ヴハンド ブッダル氏は此程贈太政大臣岩倉公の傳記を佛文に翻譯したるよし

○軍艦碇泊場　一昨五日其筋に於て各軍艦ハ碇泊所ヲ取調べしよ左の如しと

（品川）華敏（橫濱）天城、孟春（橫須賀）日進、比叡、筑紫、鯨、淺間、風翔、千代田形、東、扶桑、葛龍、天龍、筑波、春日、雷電、金剛、播賀）石川、富士山（神戸）筑紫（上海）磐城、清輝（仁川）海門（釜山）龍驤（舊海軍省）鎮津

○十三萬圓　琵琶湖疏水事件に付京都府より滋賀縣へ三萬圓、大坂府へ十萬圓を差廻せしとの噂は確てありし所なるが此度急々讓金と差廻さるゝ事に決定し由にて大坂府ハては其金を以て攝津島上島下兩郡各村の殿川沿岸の堤防費ニ充る趣きなり

○鉄道布設の企　甲州街道神奈川縣下八王子驛より境川（甲相境）に至る迄の新道開鑿は粗工事と畢りしが今度山梨縣鄕澤驛より靜岡縣下清水港へ鉄道を布設せんと山梨縣下の各郡長戶長い去る一日總會議を開ひたるよし

○堤防修築費　石川縣下は去月九日、十四日の洪水に諸河の堤防を破壞したる個所掛かゝ岩村同縣令及び常置委員の實地檢分も已ニ相濟みたるが此程間縣廳より堤防修築費概算一萬八千八百九十九圓六十二錢九厘い至急と要する事件なるを以て府縣會規則第卅七條に依り常置委員會の決議を經て通徹せる旨通ったるよし

○米國博覽會景況　紐米合衆國ルイヤナ州ニューオルレヤンス府博覽會事務官よりの報道に據れい該會は同府祝祭（二月十日より同二十日まで）前後より頓ニ好景況と添へ一日凡十萬人の來觀人ありし議院にては本會に向ひて補助增額金三十六萬圓と交付すへしとの議決ありしより何となく人氣引立ち最初當國鉄道會社ニ於ては本會の來觀人い一英里一仙にて乘車せしめんと豫定せしも不人氣のさ矢擧行せざりしに前述の如く今回議院にて補助なりしに會社に於ても乘客賞ては入場券と賣るよし大に面目と改めたり本會の結果も必ず良評判は益々宜しく先會社ニ於て二千二百四百三十弗餘なりき少なる所以は當時の群集せるものよりして也注目せざるに由る

○銀行同盟會臨時會　合同盟會は今度馬關開く趣きにて各地銀行ハ出たるよし

○信濃川改修　前年信濃川の改修工事により新潟までの間に六十一萬圓い港口と お充つる見込なりと中ノ口川分流までの即ち信濃中ノ口合流までは三百間と爲しなるの計畫なりと云ふ

○酒造家の注意　新潟京地方へ清酒と數千類中上等に居る者と しも何分初めての輸りて幾何の損耗と等の機會と誤りさるも經驗なき爲め手ぬかして酒味を變せし向と加へ樽の製造を改同塲拂下ハ品川硝子

○拂下願　品川硝子製造所時愛國同盟黨が同國會と催ふ去恫喝の擧に據りて既に本紙に掲の新聞い四月中旬倫敦件を詳記せり今其大四月十五日倫敦發がパルチル橋と通る惹東を皇太子の車の後都に居たに歌呼喝采したりかれ行列ハ石と投ぜるに群集は忽ちんとしたれば探偵コルク府知事が其發せられたり斯くと開き其處にて過事と記せる倫敦の